

黒河(くろこ)の会便り 第7号

夏の到来。各地での山開きが紹介される7月となりました。
昨年6月に世界文化遺産として登録された富士山では 信仰を原点とする
登山スタイルを今に伝える「お山開き」が「富士講」の方々により行わ
れます。レジャー客の山開きとは一味違うこの神事は観光客をも巻き込
みながら伝統を継承しつつ発展しているそうです。



さて、「紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録」も来年は10周年。
節目の年を迎えます。それに先駆け 朝日新聞では『道を継ぐ』と題して
「ルート再生地元が熱意」、続いて「道なき道風景を楽しむ黒河道橋本市民ら歩く」の記事が、また読売
新聞では「未来に続く 追加登録高まる機運」の記事が掲載されました。7月13日にはインターネット新聞
「高野山麓橋本新聞」で“黒河の会便り”が「沿道有志・会便りで発信」と題し紹介されています。

7月6日、高野七口再生保存会設立1周年記念として 金剛峯寺の山口文章部長による「文化財に秘めら
れたもの」の講演が橋本商工会館で行われ、高野山の胎内仏と納入品の貴重なお話を伺うことが出来ました。
この催しは高野七口再生保存会の主催によるもので、和歌山県の振興局も協力しています。

このように高野七口学では、毎月各界の専門講師を招いての勉強会を商工会館でおこなっています。また、
黒河道の補修なども行っています。今後の活動予定など“黒河(くろこ)の会だより”でも紹介していきま
すので ご興味のある方は ぜひご参加ください。“黒河(くろこ)の会”ではこれからも再生保存会、橋本
市教育委員会、シルバーセンターなどと協力しながら道の保存を行ってまいります。

(7月3日の「守りを広げる」の作業には“黒河の会”から川合愛明さんと山本洋久さんが参加してくださいました。)

既に区からの回覧でもご存知のとおり、読売新聞和歌山版にて“除草活動に取り組む黒河の会”が紹介さ
れました。しかし、この日はあいにくの雨天。中道開け草刈りを実施するも作業を途中で中止しています。
続きは近々行う予定です。日程など詳細決定しだいお知らせしてまいりますので ご協力をお願いします。

くろこの会 山本一清

おしらせ

高野七口再生保存会では本年度(平成26年7月~28年6月)の会員を募集しています。
募集要項は以下の通り、多くの皆様の賛同・協力をお願いいたします。

- ① **ご入会いただける方** → 会の趣旨および目的に賛同していただける個人または団体
- ② **会員の種類** → **正会員** (運営や事業にかかわる会員で、総会での議決権を持つ会員)
→ **賛助会員** (運営や事業に助言や資金援助を行う協力会員で総会では議決権を持たない会員)

③ **入会申し込み方法**

別紙入会申し込み用紙に所定事項を記入の上、事務局へ郵送ならびに入会金及び年会費の
振り込みをお願いします。※会費について

正会員……入会金年額2000円と年会費3000円の合計5000円
賛助会員…入会金0円、年会費2000円

高野七口再生保存会の趣旨にご賛同ならびに諸活動へのご参加を頂ける方は下記まで

事務局 ▶ 橋本市市協 1-3-18 ☎080-1434-0985 または「くろこの会」▶ 山本一清 ☎0736-32-0606